

## 目標の設定及び達成に向けた考え方について(区作成)

【都島区】(受託者等:株式会社KEG・キャリアアカデミー)

		区の考え方等	
1	地域課題・ニーズ等の状況について	ターミナル駅や繁華街を有する地域、河川沿いの地域、集合住宅が大部分を占めている地域、独居高齢者の割合が多い地域など、取り巻く環境が大きく異なるにも拘らず、従来型の画一的な地域活動を継続させることを目的とする地域が多く見受けられる。また、全ての地域において、担い手・参加者が固定化している傾向にある。	
		自律的・民主的な地域運営が実行可能な運営基盤の成熟が必要である。	
2	当事業によりめざす状態	地域、企業、NPO、行政など多様な主体が協働し、自律的・民主的な地域運営が行われている状態	【現在の状況】 ・達成状況:7割程度達成 ・説明:行政や社会の求めるレベルの自律的・民主的な地域運営には至っておらず、担い手の固定化などの課題を抱えている。
3	当事業の目標		
	(1) 中長期の目標	地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合 81%以上	【現在の状況】 ・達成状況:81.2% ・説明:地域のレベルに応じた個別支援が行われている。
	(2) 平成30年度目標		
	ア「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」	形成済の全地域活動協議会について、ステージ1の項目を全て達成の他、ステージ2の各項目のうち、4項目を達成	【現在の状況】 ・達成:0地域 未達成:0地域
	イ 利用者アンケート調査		
	(ア) 自律的な地域運営	校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている割合 60%以上	【現在の状況】 まちづくりセンターの支援により、皆さんの地域において、支援を受ける前よりも自律的な地域運営に取り組んでいると思いますか。(問4) 69.3%(①そう思う 25.6% + ②ややそう思う 43.7%)
	(イ) 中間支援組織の活用	地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合 75%以上	【現在の状況】 まちづくりセンターの支援は、地域の皆さんの活動に役に立ちましたか。(問1) 81.2%(①そう思う 25.7% + ②ややそう思う 55.5%)

	区の考え方等
4 地域活動協議会の状況についての分析  上記2・3の【現在の状況】及び評価資料等を踏まえ分析	<p>課題や必要とされる取組みについて地域内で概ね共有できており、重要な案件は運営委員会で議決するなどの基本的な組織運営はできているものの、全地域において行政や社会の求めるレベルの自律的・民主的な地域運営には至っておらず、常にまちづくりセンターの支援が必要となっている地域もある。</p> <p>また、担い手・参加者が固定化している傾向にあり、従来型の画一的な地域活動を継続させることを目的とする地域が多く見受けられ、地域課題の解決に向けた活動への転換が意識されていない。</p> <p>なお、包括外部監査の意見を受け、地活協の会計や監査にかかる全市的な基準が定められたことにより、全ての基準を満たしているとは言い難い実態が明らかとなったため、地域のレベルに応じた再度の制度説明を行った。概ね全地域で理解を得ることができており、順調に取組中である。</p>
5 当事業による支援の方針	<p>地域課題やニーズについて、地域自らの気づきを促し、「従来型の活動」から「地域課題の解決に向けた活動」への転換を意識できるよう働きかけていく。</p> <p>若年層の担い手が、地域活動協議会の中で存在感を示すことができるような仕掛けづくりを行い、新たな担い手の発掘につなげる。</p> <p>民主的で開かれた組織運営と会計の透明性確保に向け、関係条例や規約の遵守を促すとともに各地域のスキルレベルに応じた支援を行う。</p>
6 目標達成に向けた戦略	<p>地域カルテの作成により、可視化された課題を地域内で共有し、事業見直しの必要性を認識できるよう支援する。</p> <p>地域活動協議会構成団体の若年層をターゲットに、新たな担い手についての意見交換を行うイベントを実施し、若年層の活躍とつながりの拡充を図る。</p> <p>組織運営や会計スキルについて精度に地域差が見られることから、地域ごとの実情に即した個別説明を行う。また、今まで不足が見られた事業告知に注力することで、より開かれた地域活動を目指す。</p>